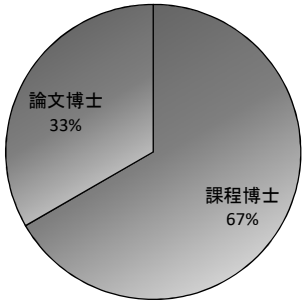
連合農学研究科修了生アンケート

（2017 年9月実施）

１．取得した学位

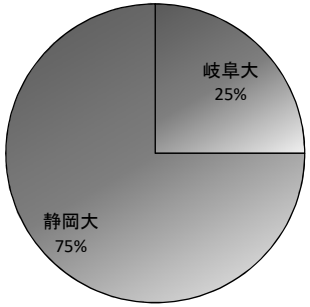
課程博士	論文博士
4	2
67%	33%



２．配置大学名

岐阜大	静岡大
1	3
25%	75%

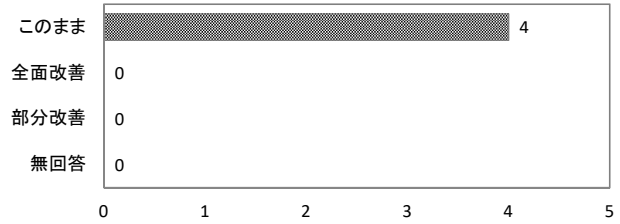
*論文博士該当無



３．入学試験方法について

このままでよい	全面的に改善すべき	部分的に改善すべき	無回答
4	0	0	0
100%	0%	0%	0%

*論文博士該当無

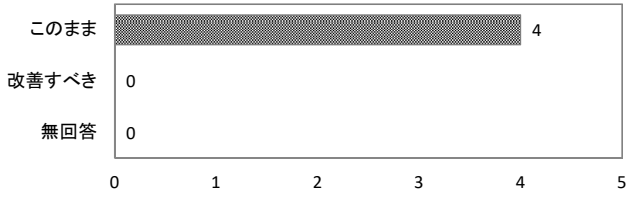


４．入学試験の時期と回数について

（現在は、９月と２月の２回行っております。英語特別コースは別途行っております。）

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

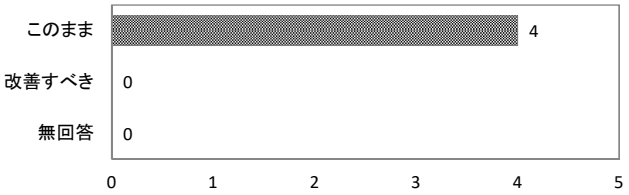
*論文博士該当無



５．入学式について（４月と１０月の２回です）

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

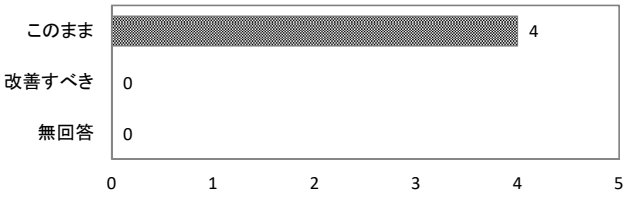
*論文博士該当無



６．オリエンテーションについて

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

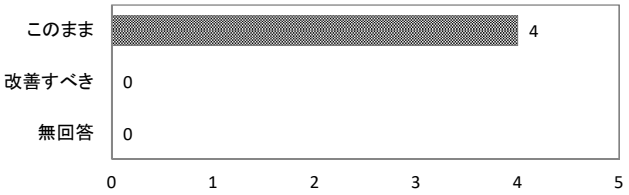
*論文博士該当無



７．入学時の研究計画書の書き方

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

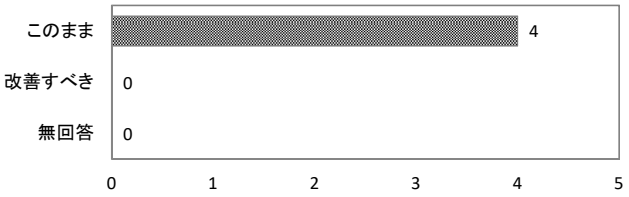
*論文博士該当無



８．総合連農ゼミナール（合宿形式のゼミナールです）

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

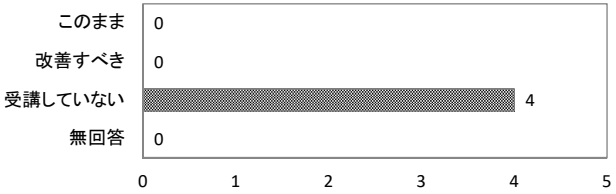
*論文博士該当無



９．農学特別講義Ⅰ（日本語による講義）
（多地点制御遠隔講義システムを使って全国連合農学研究科で行う講義
（SINET 連合一般ゼミナール））

このままでよい	改善すべき	受講していない	無回答
0	0	4	0
0%	0%	100%	0%

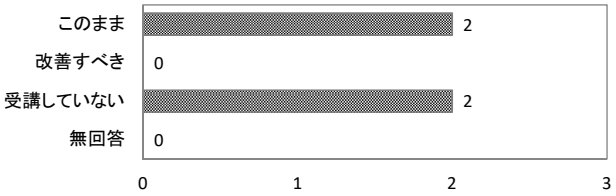
*論文博士該当無



１０．農学特別講義Ⅱ（英語による講義）
（多地点制御遠隔講義システムを使って全国連合農学研究科で行う講義
（SINET 連合一般ゼミナール））

このままでよい	改善すべき	受講していない	無回答
2	0	2	0
50%	0%	50%	0%

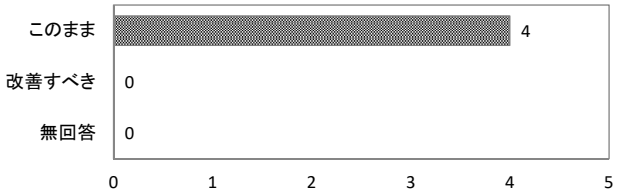
*論文博士該当無



１１．主指導教員のアドバイスの的確さ、指導の頻度、学生に対する態度について

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

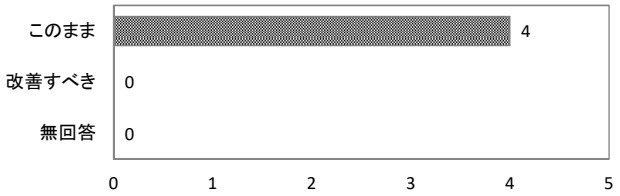
*論文博士該当無



１２．第１副指導教員のアドバイスの的確さ、指導の頻度、学生に対する態度について

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

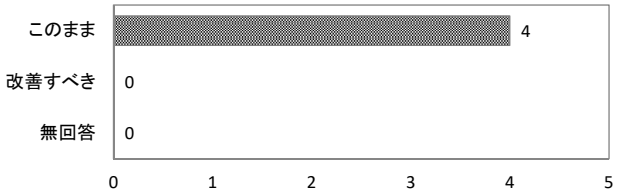
*論文博士該当無



１３．第２副指導教員のアドバイスの的確さ、指導の頻度、学生に対する態度について

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

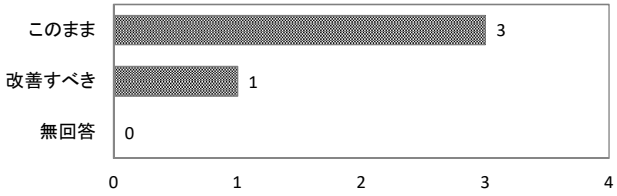
*論文博士該当無



１４．　専任教員のアドバイスの的確さ、指導の頻度、学生に対する態度について

このままでよい	改善すべき	無回答
3	1	0
75%	25%	0%

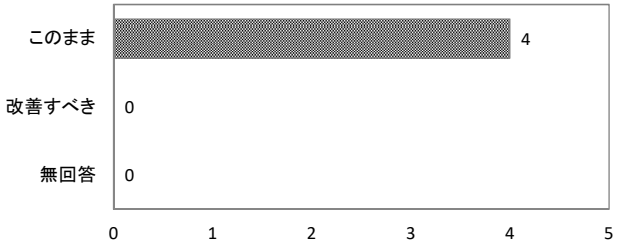
*論文博士該当無



１５．中間発表の時期について

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

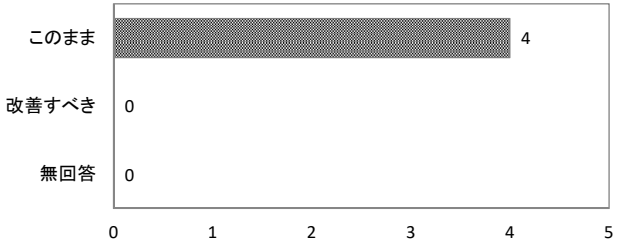
*論文博士該当無



１６．中間発表の方法について

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

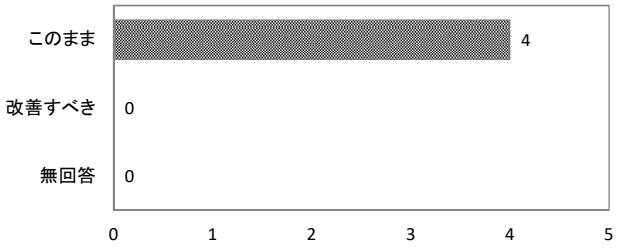
*論文博士該当無



１７.学位申請時期（年に４回あります）

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

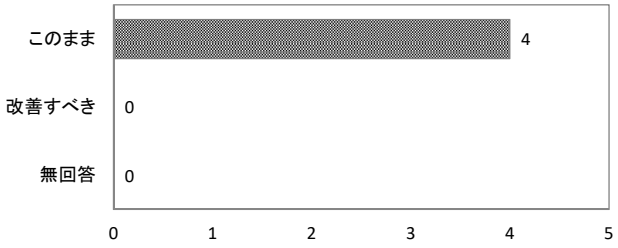
*論文博士該当無



１８． 学位申請条件

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

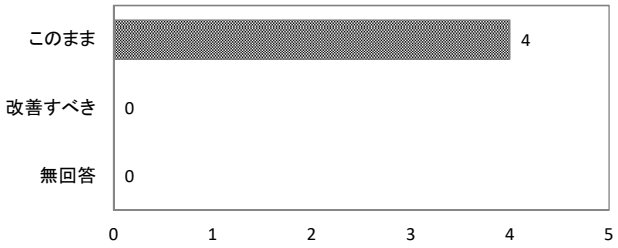
*論文博士該当無



１９． 学位記の種類について（現在は、博士（農学）です）

このままでよい	改善すべき	無回答
4	0	0
100%	0%	0%

*論文博士該当無

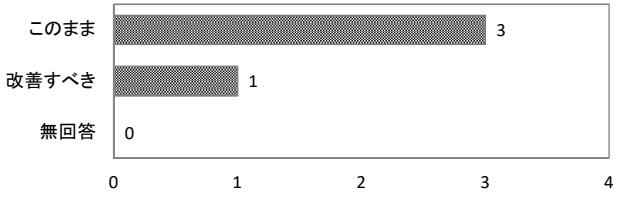


２０．学生への通知方法のありかた

このままでよい	改善すべき	無回答
3	1	0
75%	25%	0%

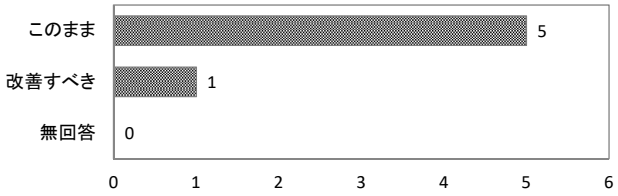
*論文博士該当無

*論文博士該当無



２１．職員の対応

このままでよい	改善すべき	無回答
5	1	0
83%	17%	0%

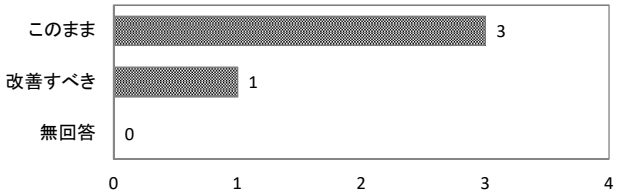


Comment:　Probably the staff could be give information in English.

２２．学生へのバックアップ体制について

このままでよい	改善すべき	無回答
3	1	0
75%	25%	0%

*論文博士該当無

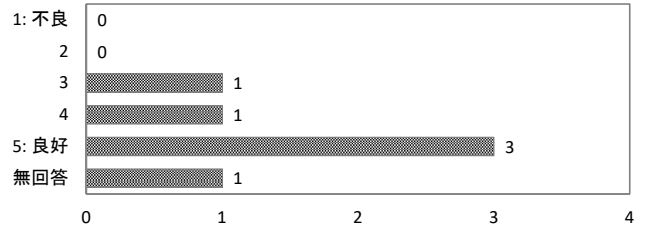


Comment: If possible, student can access to academic records directly and without application procedure.

２３．次の各項目について、1から5のうち最も適切と思われる記号に○をつけてください。「5は良好（多）、1は不良（少）、3はどちらともいえない」を意味します。

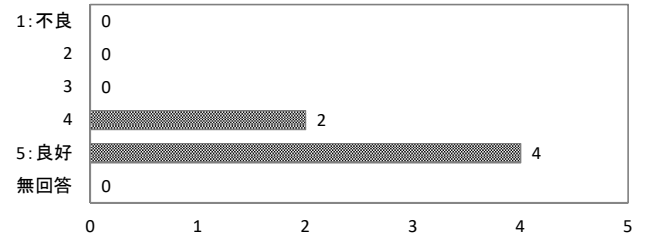
A. 連合農学研究科での学生生活はいかがでしたか。

1: 不良	2	3	4	5: 良好	無回答
0	0	1	1	3	1
0%	0%	17%	17%	49%	17%



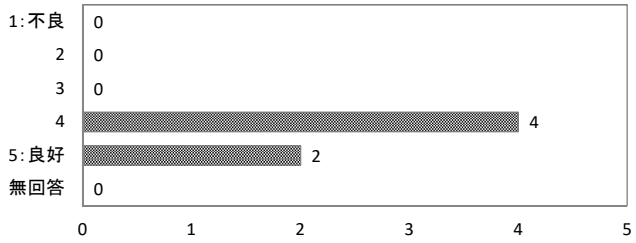
B. 指導体制はいかがでしたか。

1: 不良	2	3	4	5: 良好	無回答
0	0	0	2	4	0
0%	0%	0%	33%	67%	0%



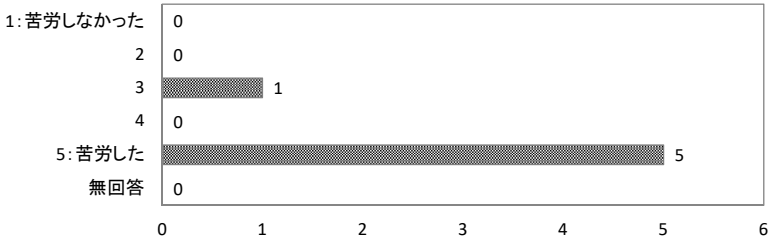
C. 事務などのサポート体制はいかがでしたか。

1: 不良	2	3	4	5: 良好	無回答
0	0	0	4	2	0
0%	0%	0%	67%	33%	0%



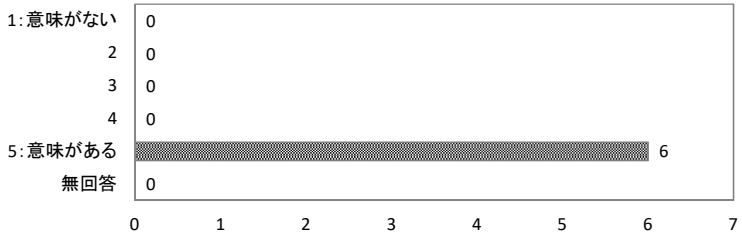
D. 学位を取得するのに苦労しましたか。

1: 苦労しなかった	2	3	4	5: 苦労した	無回答
0	0	1	0	5	0
0%	0%	17%	0%	83%	0%



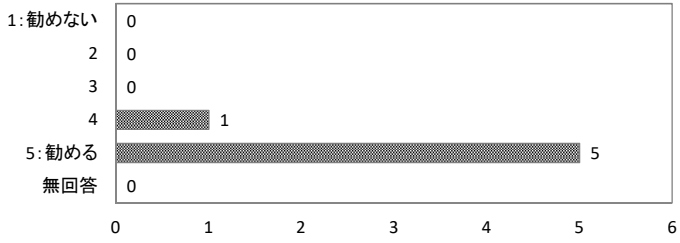
E. 学位取得した意味はありますか。

1: 意味がない	2	3	4	5: 意味がある	無回答
0	0	0	0	6	0
0%	0%	0%	0%	100%	0%



F. あなたは岐阜大学大学院連合農学研究科を後輩に勧めますか。

1: 勧めない	2	3	4	5: 勧める	無回答
0	0	0	1	5	0
0%	0%	0%	17%	83%	0%



２４．その他、連合農学研究科に対する希望やご意見をお書きください。

・当初、中間発表の実施について不明確な部分があり、戸惑う部分がありました。研究科内で対応を決定し、そのことを教員および職員間で情報を共有したうえで、学生に指示をしていれば混乱を避けることができたのではないかと考えます。
　休学や復学願等の締め切りは、オリエンテーション時に時期を知らせるなど、何らかの方法で周知いただければ大変助かります。
　職員および教員の方々に色々と親身になってご対応・ご指導いただき大変感謝しております。心よりお礼申し上げます。周りにも御大学院を勧めたいと思います。

・学位論文の基礎となる論文3報、既発表論文3報が条件ということで申し合わせ事項には記載されていますが、短報や技術論文が対象外であることが明記されておらず、当方の認識不足もあり, Full paper の論文投稿に時間がかかってしまいました。他大学の規定を見ると、「対象外」、「原著論文と同等の価値があると認められる場合は対象とする」等文章で明記されていました。今後取得される方のためにも何らかの形で明記いただいた方が良いと考えます。また、第一著者で出した（短報）論文が対象とならず、あまり関わりの少ない共著論文が対象となってしまうのは、学位に値するかを判断する方法としても適切かどうか考慮すべきだと思います。他大学では、第一著者と第二著者以降のポイントを変える方法もとられており、将来的にはそのような方法も考えられると思います。
　また、対象論文リストは19期という古いリストを使っており、学会名が変わっているものも多々あります。そのあたりの精査をお願いします。
　学位論文審査に当たり、先生方、連合農学係の方々にお世話になり、ありがとうございました。

・I believe support system by office has been well managed. However, I would like to share my experience that I found difficulty receiving information in Japanese. Mostly the documents sent by staff available in Japanese and English versions, but still there were a few emails and documents to be filled out by students without English version.
　I knew that international student should learn Japanese but this thought should be consider that each laboratory/supervisor has own rule for treating their international student regarding Japanese proficiency.
　I wrote this for good circumstance fullest particular for English Course student (international student).